

## 非がん患者に対する緩和ケア



副院長  
濱尾 巧

今回の診療報酬改定で、緩和ケア診療加算の見直しがなされ、末期心不全患者が対象に追加されました。

末期心不全患者の多くは、呼吸困難・倦怠感・疼痛などの身体的苦痛に加えて、精神心理的苦痛や社会的苦痛といった問題も抱えており、がん患者と同様に緩和ケアのニーズは非常に高いと思われます。

緩和ケアの対象患者はがんに限定されるものではありません。今後は慢性心不全だけではなく、慢性閉塞性肺疾患、末期腎疾患、神経難病疾患、さらには認知症など非がん患者に適応が広がっていくことが望まれます。

当院においても、がんの緩和ケアだけではなく、非がん患者の緩和ケアにも注力し、よりよい医療を提供していきたいと考えています。







診療部 泌尿器科  
医長  
榊 学

## ■ 尿路結石はメタボリックシンドロームのひとつ

上部尿路結石(腎結石・尿管結石)は男性に多く、男性では7人に1人、女性では15人に1人が一生に一度は尿路結石に罹患すると言われています。男性では40～50歳代、女性では50～70歳代が好発年齢です。食生活の欧米化に伴って増加しており、最近の疫学調査から尿路結石はメタボリックシンドロームの一病態であると認識されつつあります。

2013年版の尿路結石症診療ガイドラインにおいて、男性結石患者の40.3%、女性結石患者の24.8%に肥満があり、結石患者の肥満率は高率です。また生活習慣病である高血圧、糖尿病、高脂血症の結石患者の合併頻度は、それぞれ21.7%、9.8%、14.1%であり、特に肥満患者では高率に合併しています。尿路結石は再発を起こしやすく、再発予防対策を行わなかった場合、5年間で約45%が再発すると言われています。また二親等以内に尿路結石の方がいる場合は、いない場合と比較して初発年齢が約20歳若く、有意に再発率が高いと報告されており、再発予防が非常に重要です。

## ■ 食事に気を付けることが大切！

尿路結石の成分にはいくつかの種類があり、シュウ酸カルシウムを主成分としたものが大多数です。尿酸結石など一部の結石では薬物治療が有効ですが、シュウ酸カルシウム結石で薬物治療が適応となることはまずありません。シュウ酸はほうれん草、コーヒー、チョコレートなどに多く含まれます。シュウ酸は腸管内でカルシウムと結合し、この結合物は腸管から吸収されずに便として排泄されるので、カルシウムと一緒に摂取すると血液中への吸収が抑えられるため、シュウ酸を控えて適量のカルシウムを摂取することが大切です。コーヒー、チョコレートはブラックよりもミルク入りにする、ほうれん草は茹でてかつお節をかけて食べるなど、一工夫することで再発予防につながります。また尿中のシュウ酸濃度は食後2～4時間で最大となるため、夕食から就寝まで最低4時間は空けるとよいでしょう。



当院の施設認定等

ワークライフバランス

- 日本泌尿器科学会泌尿器科専門医基幹教育施設
- 日本透析医学会専門医制度認定施設
- 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- 日本緩和医療学会認定研修施設
- 日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設
- DPC 参加病院
- 急性期一般入院料1 (7対1看護)
- 産休・育休後の復職率100%を14年間継続しています

## ■再発を防止するために

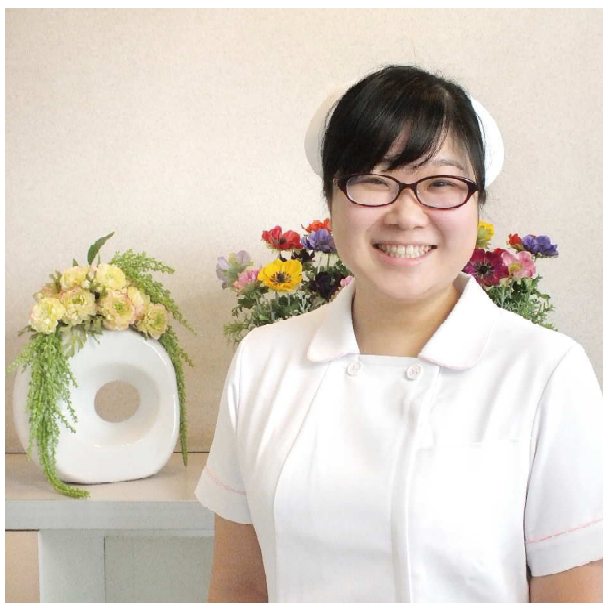
水分摂取も再発予防には重要です。ガイドラインでは1日尿量が2000mL以上となる水分摂取を推奨しており、**たくさんの水分を摂って尿量を増やすことが結石予防に有用**とされています。水分摂取はスポーツドリンク、炭酸飲料、アルコールなどではなく、水、麦茶、番茶などのノンカロリー飲料で行いましょう。

その他に動物性たんぱく質・塩分・糖類・脂質の過剰摂取に注意する、適度に運動して肥満を予防するなどが再発予防として挙げられますが、これらは生活習慣病の予防と共通しており、この点から尿路結石はメタボリックシンドロームの予備軍とも考えられます。食事内容や生活習慣を見直すことで結石の再発予防だけでなく、生活習慣病の予防にもつながるはずです。



適度な運動と水分補給を!

## 新入職員の紹介 ①氏名 ②職種 ③出身地 ④趣味・特技 ⑤抱負をひと言



- ①来田 倫子 (らいた みちこ)
- ②看護師
- ③富山県
- ④お琴
- ⑤患者さんが安心して療養生活を送れるよう、丁寧な看護を提供できるように頑張ります。

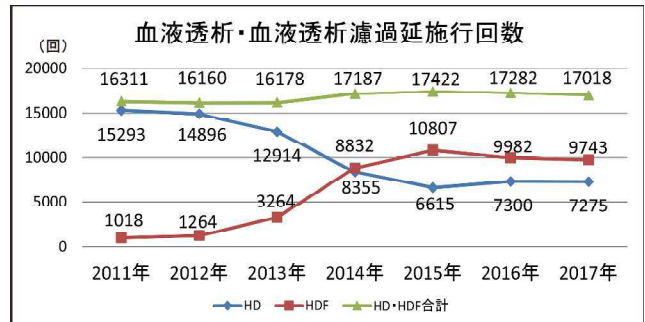
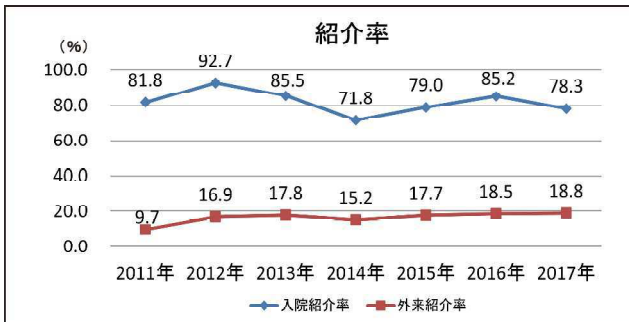
## 臨床指標の公開

亀井病院における直近7年間（2011～2017）の、主な臨床指標の経年変化をお届けいたします。

臨床指標を測る目的は、自院の変化を追跡し、継続して改善をすすめることにあります。提供している医療の質が良い方向に向いているのかどうかを可視化して共有し、病院全体で改善をすすめ、より効率的な医療提供につなげています。

皆さまに私たちの仕事をお知り頂くきっかけになればと願っております。

（診療情報管理室）



### 疾病大分類別退院患者数

疾病大分類	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
I 感染症および寄生虫症(A00-B99)	1	2	2	6	1	19	21
II 新生物(C00-D48)	71	110	95	111	145	180	181
III 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害(D50-D89)	0	0	1	0	1	2	1
IV 内分泌、栄養および代謝疾患(E00-E90)	7	4	3	3	2	4	2
V 精神および行動の障害(F00-F99)	0	0	0	0	0	0	0
VI 神経系の疾患(G00-G99)	0	0	0	1	0	1	1
VII 眼および付属器の疾患(H00-H59)	0	0	0	0	0	0	0
VIII 耳および乳様突起の疾患(H60-H95)	0	0	1	0	1	0	0
IX 循環器系の疾患(I00-I99)	18	14	4	3	1	6	5
X 呼吸器系の疾患(J00-J99)	13	10	6	5	7	4	8
XI 消化器系の疾患(K00-K93)	7	8	2	4	3	9	18
XII 皮膚および皮下組織の疾患(L00-L99)	2	0	0	1	2	0	0
XIII 筋骨格系および結合組織の疾患(M00-M99)	1	3	2	0	1	2	0
XIV 泌尿路生殖器系の疾患(N00-N99)	197	216	278	283	394	447	365
XVII 先天奇形、変形および染色体異常(Q00-Q99)	0	0	0	1	2	1	0
XVIII 病状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの(R00-R99)	1	0	0	0	0	0	0
XIX 損傷、中毒およびその他の外因の影響(S00-T98)	78	135	98	112	97	119	137
XXI 健康状態に影響を及ぼす要因および保健サービスの利用(Z00-Z99)	0	0	0	0	0	0	0
総計	396	502	492	530	657	794	739

### 2017年1月～12月間の年齢階級別退院患者数

年齢区分	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上	総計
患者数	-	2	3	14	32	75	226	239	129	19	739



診療科別退院患者数（上位5位まで）

泌尿器科

疾患名	ICD10	件数
腎結石症	N200	79
膀胱癌	C679	55
尿管結石症	N201	50
前立腺肥大症	N40	40
前立腺癌	C61	38

緩和医療科

疾患名	ICD10	件数
前立腺癌	C61	20
膀胱癌	C679	7
卵巣癌	C56	6
肝細胞癌	C220	5
尿管癌	C66	4

透析科

疾患名	ICD10	件数
透析シャント狭窄	T828	115
末期腎不全	N180	76
透析シャント閉塞	T828	9
透析シャント静脈高血圧症	T828	4
透析シャント感染症	I827	3

総合診療科

疾患名	ICD10	件数
C型肝炎	B182	18
アルコール性肝硬変	K703	12
下部消化管出血	K921	3
S状結腸憩室炎	K573	2
上行結腸癌の術後	C182	1

主な手術実績

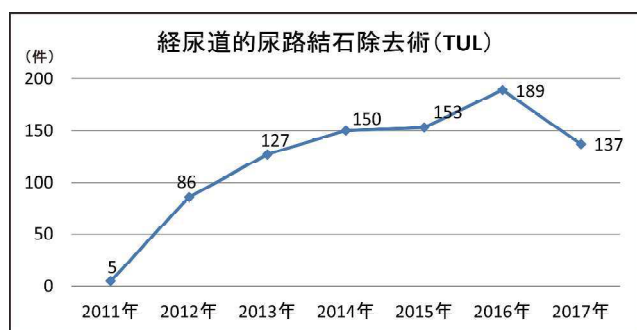
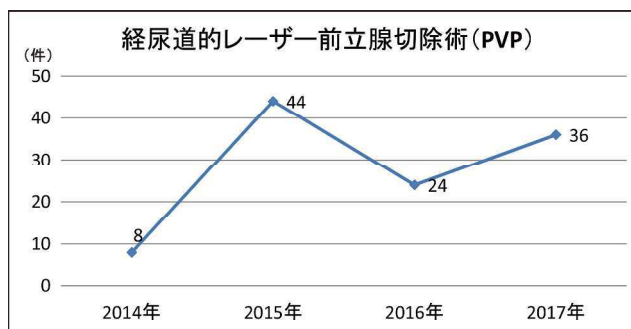
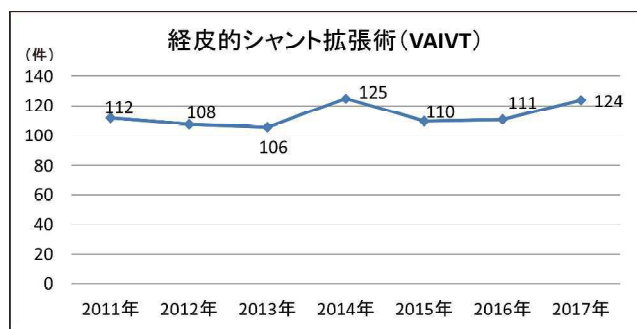
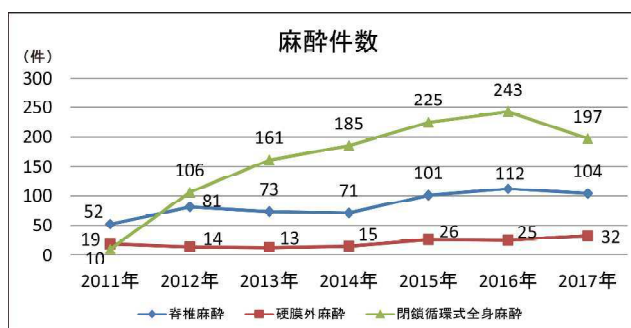
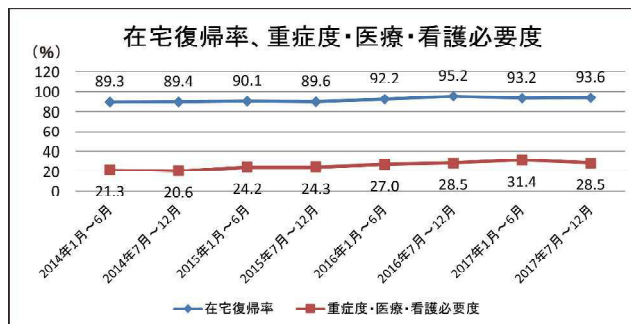
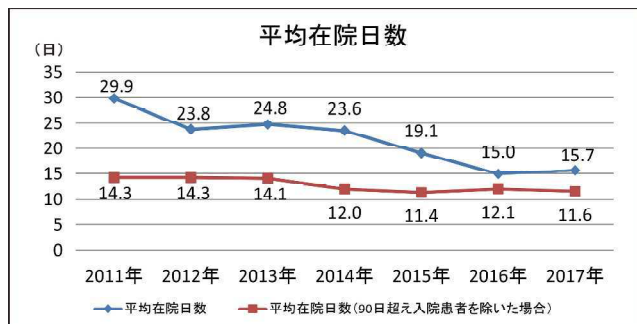
Kコード	名称	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
K607 2	血管結紮術(その他)	2	3	1	2	3	1	6
K607-3	上腕動脈表在化法	5	7	1	0	0	7	2
K608-3	内シャント血栓除去術	112	33	1	0	0	0	4
K610 5	動脈形成術(その他の動脈)	1	7	3	0	0	1	0
K610-3	内シャント設置術	11	14	17	10	10	29	17
K614 7	血管移植術(その他の動脈)	1	4	5	5	1	6	7
K616-4	経皮的シャント拡張術(VAIVT)	-	108	106	125	110	111	124
K618 1	中心静脈注射用植込型カテーテル設置(四肢)	5	7	3	0	2	3	4
K618 2	中心静脈注射用植込型カテーテル設置(頭頸部その他に設置)	0	0	3	2	1	2	1
K623 3	静脈形成術(その他の静脈)	0	0	0	0	1	0	0
K635	胸水・腹水濾過濃縮再静注法	3	7	17	3	5	42	39
K637-2	経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術	0	0	0	0	1	0	0
K764	経皮的尿路結石除去術(経皮的腎瘻造設術を含む)	0	3	18	7	11	4	4
K768	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術(一連につき)	13	7	2	6	3	5	1
K773	腎(尿管)悪性腫瘍手術	2	5	0	1	2	1	0
K775	経皮的腎(腎盂)瘻造設術	5	25	10	16	8	6	10
K781 1	経尿道的尿路結石除去術(レーザーによるもの)	0	82	126	146	144	181	119
K781 2	経尿道的尿路結石除去術(その他のもの)	5	4	1	4	9	8	18
K783	経尿道的尿管狭窄拡張術	0	1	0	1	1	0	1
K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	14	15	19	28	32	65	65
K783-3	経尿道的尿管ステント除去術	6	41	51	60	53	59	46
K785	経尿道的腎盂尿管腫瘍摘出術	0	0	0	0	2	1	0
K798 1	膀胱結石摘出術(経尿道的手術)	6	12	10	11	14	10	14
K800-2	経尿道的電気凝固術	4	7	6	3	4	3	9
K800-3	膀胱水圧拡張術	4	9	6	3	14	17	16
K802-2 2	膀胱脱手術(その他のもの)	0	0	2	1	0	0	0
K803 61	膀胱悪性腫瘍手術(経尿道的手術・電解質溶液利用のもの)	10	12	17	18	22	25	26
K803-1	膀胱悪性腫瘍手術(切除)	0	0	0	0	0	1	0
K805	膀胱瘻造設術	0	0	0	1	2	6	1
K815 1	尿道異物摘出術(前部尿道)	0	0	0	0	0	1	0
K815 1	尿道結石摘出術(前部尿道)	0	0	0	0	0	1	0
K815 2	尿道異物摘出術(後部尿道)	0	0	0	1	1	0	0
K816	外尿道腫瘍切除術	0	0	0	0	0	1	1
K817 2	尿道悪性腫瘍摘出術(内視鏡による場合)	0	0	0	0	0	1	0
K821	尿道狭窄内視鏡手術	2	2	1	0	3	1	0
K821-2	尿道狭窄拡張術(尿道バルーンカテーテル)	2	4	8	5	6	2	0
K821-3	尿道ステント前立腺部尿道拡張術	0	0	1	5	3	5	2
K822	女子尿道脱手術	1	0	0	0	1	0	0
K823 2	尿失禁手術(その他のもの)	0	0	0	0	0	1	2
K828 2	包茎手術(環状切除術)	1	2	3	1	2	8	1
K830-2 1	精巣外傷手術(陰嚢内血腫除去術)	0	0	0	1	0	0	0
K832	精巣上体摘出術	0	0	0	2	0	0	0
K833	精巣悪性腫瘍手術	0	1	0	1	0	3	1
K835	陰嚢水腫手術	1	2	2	5	0	2	3
K841 (1, 2)	経尿道的前立腺手術	6	5	8	3	4	6	2
K841-2 2	経尿道的レーザー前立腺切除術(その他のもの)	0	0	0	8	44	24	36

Pipi、つてなあに？

「Pipi」とはフランス語で「おしっこ」の意味です。

広報誌の発刊が決まったとき、職員に名称を募集したところ、集まったものなかでキラリと光っていたのがPipiでした。当院の特徴である腎・泌尿器を表現できているのではないかと考えています。

# 臨床指標



## 【TUL について】

当院では、2012年4月に軟性尿管鏡を用いた経尿道的尿路結石除去術(TUL)を開始し、2014年から年間150件以上おこなって参りました。2017年1月からは、より安全で効率的な碎石を行うことを目的に最新の尿路結石治療レーザー(Quanta Litho)を導入しました。その結果、手術の平均実施回数は2016年と比較して0.18回少なくなり、患者さんの身体的負担と時間及び経済的な負担の軽減につながりました。

## カメイのごはん アボカドしそ豚巻き

「アボガド」「アボカド」よく耳にしますが、どちらが正しいのでしょうか？ 日本食品標準成分表では果実類に分類されアボカドと記載されています。果実といっても甘みはなく、森のバターと言われるほど脂質を多く含み、熟れてくるとねっとりとした食感です。熟れ具合は皮の色で判断できます。熟すにつれて緑色から黒くなっていきますが、黒すぎるものは熟しすぎているのでカットして使うには不向きでしょう。含まれる脂質は、バターとは違い不飽和脂肪酸の一つであるオレイン酸が多く、オリーブオイル同様に高血圧や動脈硬化の進行を防ぐ働きがあると言われています。

わさび醤油でさっぱりと頂くことが多いと思いますが、今回は豚肉で巻いてみました。しその葉とレモンでさっぱりといただけける味付けになっています。カロリーが気になる方やアボカドが苦手な方は、代わりにエノキを芯に巻いてもおいしく仕上がります。一度お試しください。

(管理栄養士 山下絵里)



### 【材料】一人分

- アボカド…30g (2切れ)
- 豚ロース肉しゃぶしゃぶ用…30g (2枚)
- 塩・コショウ…少々
- 砂糖…大さじ 1/2
- オリーブオイル…小さじ 1
- こいくち醤油…大さじ 1/2
- 水…大さじ 1/2
- 菜の花…20g (2本)
- 青じそ…1g (2枚)
- フルーツマト 小…40g (1玉)
- スナップえんどう…10g (2本)
- レモンくし切り…20g (1/8玉)

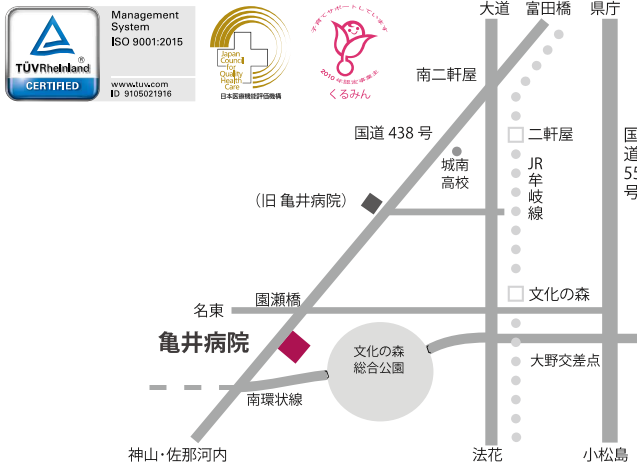
### 【作り方】

- ① アボカドは中心の種に注意しながら包丁で縦に切り込みを入れて1回転させ、上下を各々逆回しにひねる。残っている種は取りのぞき、1/2玉分の皮をむき、縦に3等分する。  
エネルギー：231 kcal
- ② 豚肉をたて長に広げて塩・コショウを少々ふり、青じそを1枚のせる。  
タンパク質：9.1 g
- ③ ②の肉にアボカドを一切れのせ、手前から斜めになるように巻いていく。  
脂質：15.5 g
- ④ フライパンにオリーブオイルを熱し、③の巻き終わりを下にして弱火で焼き、肉に火が通ったら砂糖、こいくち醤油、水を入れ煮詰める。  
炭水化物：15.7 g
- ⑤ ④を斜めに2等分する。  
カリウム：587 mg
- ⑥ 菜の花は、下の軸を2～3cm切り落とし色よく茹でる。  
リン：124 mg
- ⑦ スナップえんどうは、下茹でしてからオリーブオイル少々で炒めて、塩・コショウを少々ふる。  
塩分：1.7 g
- ⑧ 皿に⑤⑥⑦とカットしたフルーツマトとレモンを盛りつける。いただく直前にレモンを搾る。

# 外来診療のご案内 平成 30 年 4 月現在

	月	火	水	木	金	土
<b>腎・泌尿器科</b>						
9:00 ~ 12:00	●	●	●	●	●	●
14:00 ~ 16:30	●				●	
<b>透析</b>						
8:00 ~	●	●	●	●	●	●
12:00 ~	●	●	●	●	●	●
17:00 ~	●		●		●	
<b>総合診療</b>					(第 2・4 土曜は休診)	
9:00 ~ 12:00	●	●		●	●	○
14:00 ~ 16:30	●					
<b>腎臓内科</b>						
9:00 ~ 12:00	●		●	●		
14:00 ~ 16:30	●		●	●		
<b>麻酔科</b>						
9:00 ~ 12:00	●	●		●	●	
<b>循環器内科</b>					(第 1・3 木曜のみ)	
14:30 ~ 16:30				○		
<b>整形外科</b>					(第 2・4 土曜のみ)	
9:00 ~ 12:00						○
<b>緩和医療</b>						
9:00 ~ 12:00		●		●		

※緊急の検査・手術や学会出張等で変更になる場合があります。  
 ※いずれの外来も予約制で行っています。当日受診希望の方も電話連絡をお願いします。  
 ※毎月（月 1 回）の保険証の提示にご協力ください。



- 国道 438 号線沿い 文化の森総合公園の西側となり
  - 大型駐車場あり
  - 徳島バス 佐那河内線、徳島市バス 一宮線
- 【亀井病院前】下車。1 日 55 便、上下線とも病院玄関前に停車します。通院・お見舞いにご利用ください。



〒770-8070 徳島市八万町寺山 231  
 TEL.088-668-1177 FAX.088-668-1122  
 ( 外来のご予約に関するお問い合わせは )  
 ( 日・祝を除く 9 時 ~ 18 時 )  
 ホームページ <http://www.kameihospital.com/>

## \*\* 地域連携室の紹介 \*\*

- 当院の患者さんやご家族の心配なこと、困ったこと、不安なことや聞きたいことなどの相談をお聞きします。
  - ・ 退院後のこと
  - ・ 転院のこと
  - ・ 自宅での介護のこと
- 各種サービスなどの情報提供を行い、患者さんやご家族と一緒に良い解決法を考えていきます。
- これから入院を考えている患者さんやご家族に当院を知っていただくための病院見学を行っております。希望される方は事前にご連絡ください。

## \*\* 表紙の写真 \*\*

当院シンボルツリーの蘇鉄と楠です。患者様やご来訪のお客様、それに路線バスにタクシー、病院職員もみんなこの前を通っています。

## \*\* 病院の理念 \*\*

よりよい医療を提供し  
 社会に貢献いたします

## \* 4 つの基本方針 \*

1. 患者さんの話に耳を傾ける医療
2. 職員全員が医療人としての技量を発揮するチーム医療
3. 患者さんの健康回復・社会復帰を目指す医療
4. 他の医療機関と連携する医療

職員全員で患者さんが健康回復に取り組むことを医療的にそして精神的に支援します

## \*\* 編集後記 \*\*

だんだんと暖かくなり、ひざ掛けもいらなくなってきた今日この頃、私のひざには猫がのっています。寒い日にはお互い助け合いながら暖をとってきたけれど、今となってはむしろ暑いのでは？と思うこともしばしば。それでもひざののってくるウチの猫ちゃんは、ただ暖をとっているのではなく、私のことが大好きなんだと信じて疑いません。(N.T)